

新春対談

— まちの宝に変える —
空家・古民家と地域活性化



一般社団法人
 全国古民家再生協会

いの うえ こう いち
井上 幸一さん

米原市長

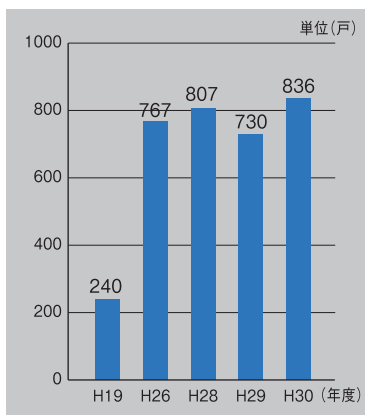
平尾 道雄

井上 幸一
 (一社)全国古民家再生協会事務局長

全国の空家や古民家を活用したまちづくりや地域活性化に携わる。
 内閣官房歴史的資源を通した観光のまちづくり専門家会議専門員も務めるなど古民家の専門家として活躍中。

撮影地：ゲストハウス楽(柏原)

市内の空家等の推移



平尾 市内の空家は、この10年で急速に増加していて、平成30年度の調査では836戸に上ります。中には、生活環境を脅かすおそれのある空家もあり、多くの相談をいただいています。

米原市の空家の現状

井上 米原市には非常に良い古民家がたくさんあるので今日の対談が楽しみです。よろしくお願ひします。

平尾 あけましておめでとうござい
 ます。今日は空家・古民家と地
 域活性化をテーマに、全国古
 民家再生協会事務局長の井上
 幸一さんを迎えてお話しした
 いと思います。

行政、民間、地域の力を合わせて
古民家を再生し、魅力を伝えたい



平尾

平尾 昨年は、所有者不在の特定空家等について、略式代執行による解体工事を実施したほか、解体費を抑えることで危険な空家の解体が進むよう、木材リサイクル業者と協定を結びました。ただ、解体せざるを得ない状態になるまでに活用できたらと考えていますが、どう思われますか。

井上

井上 空家・古民家の中には活用することで光り輝くものがたくさんあり、活用したい方も確実に増えています。しかし、長年放置されたために老朽化が進み、使えない状態になることもあるので、空家バンクを設置して活用を進める自治体が全国的にも増えています。

古民家が体験住宅に

地域の暮らしを体験できる宿泊施設が柏原と醒井でオープン！

地元の「地域のものだから残したい、誰かに使ってほしい」という思いも詰まっています。(平尾)



残そうとする高い意識が素晴らしい！(井上)

ゲストハウス楽



築150年(推定)の古民家を建築当時の構造や柏原の杉の木を活かして改修。

所在地／柏原2860

問 (株)匠工房

☎57-1055

ゲストハウス居醒庵



旧中山道沿いに残る築220年(推定)の旅籠屋を改修。2階へつながる吹き抜けなど当時の面影も残る。

所在地／醒井378

問 (株)ゴムの木農園

☎090-8058-1845

空家・古民家の相談はこちら

米原市空家バンク
まいばら空き家対策研究会

長岡1269

☎・FAX 56-1034

URL <http://koisuru-akiya.com/>

✉ maiakitai@za.ztv.ne.jp



▲まいばら空き家対策研究会ウェブサイト





平尾 市でも平成26年度からまいばら空家対策研究会と連携し、空家バンクを運営しています。これまで100戸以上の登録があり、うち44戸は新たな所有者が見つかりました。成約率は5割近くで、登録いただければ半分は活用につながっています。移住希望者からの相談件数は年間300件を超えますが、登録される空家が少ないために、待っています。待っている現状です。

井上 空家登録が進まない原因は所有者や地域の方々の意識にあるんじゃないかと考えています。先代から受け継いだ大切な家を貸したり、手放したりすることに抵抗がある。家を貸すことが恥ずかしい、迷惑をかけてしまうといった意識を変えていきたいですね。

平尾 空家の活用は地域の未来を切り拓くものであると丁寧に説明していく必要がありますね。



魅力ある米原であり続けるために 空家登録、活用の流れを作りたい

「米原新時代」の到来

平尾 昨年、古民家再生協会滋賀さんと連携協定を結びました。さまざまな面で協力体制を築けることを期待しています。

井上 この体験住宅がある柏原宿は素晴らしい通りですね。こういった場所にどう人を呼び込むか、そのための運営について、

て、行政とさまざまな民間が互いのポジションをしつかり持ちながら協力することが大事ですね。また、短期間でなく5年、10年単位でみていくことも重要だと思っています。

平尾 米原市は、豊かな自然環境に加え、高速道路のジャンクションや新幹線停車駅など交通の利便性にも恵まれています。

井上さんからみた米原市の魅力はどのような点でしょうか。

井上 交通の便が良いのは魅力ですよ。京都では観光客のホテルがとれないとの声もありますが、そこからわずか20分の距離にあるので、米原で泊まることができることもできますね。海外からのインバウンド観光にも可能性があると感じます。

平尾 便利な位置にあるということであれば、都市部から訪れたり、暮らしを始める人の新しい発想や視点で地域が活性化することも期待しています。その点で、私はこれから「米原新時代」という言葉を使おうと思っています。古民家を再生することで移住定住が促進され、米原に訪れる人ができる。ここに住まなくても、この地へアイデアを持ってくる人が増える。これも新しい地域活性化の方法だと思っています。

空家は、まず相談を

平尾 大きな可能性を秘めた空家・

古民家の活用を進めるためにはどうしたらいいでしょうか。

井上 空家の所有者にとっては相続

や片付け、仏壇の問題があつて先送りしてしまいがちです。まずは相談いただきたいですね。解決策として、貸し出しなどを提案して借りる人ができれば、例えば固定資産税分くらいは賄えるようになるかもしれません。空家の活用事例を積み上げていきたいですね。

平尾 所有者が空家の譲渡等に前向きになれるよう、市では来年度、地域のシニア世代の方に相談役として協力していただきながら、空家サポーター制度を作りたいと考えています。

井上 5年、10年後のことを見据えてみんなが地域のことを考えていく時代です。相談体制を整えることで空家の抑制につ

つ



ながると思っています。

平尾 空家の発生という点では、生

前に空家バンクに登録するといった一歩踏み込んだ行動も必要だと思っています。ぜひ自分の家を財産として、自分の代でどうしたいかを考えていただきたいですね。

空家を地域の宝に

平尾 空家というのは活用してこ

そ、地域の宝、資源になります。まちの未来を創造していくために、古民家再生協会さんをはじめ、さまざまな民間事業者の方、地域のみなさんの協力を得ながら、空家の活用を進めていきたいと思えます。

井上 ほどほど都会に近くて、自然

が豊富。そんな米原ならではの魅力、そして、古民家再生の魅力や格好良さをまずは多くの方に知っていただくこと。我々もそういった発信をし

て、米原市の活性化のお手伝いをしたいと思っています。

平尾 私は、この数年が空家・古民

家再生の要の時期だと思っています。解体しなければならぬ空家にしてしまふのか、新しい住民や旅行者が来る場所になって地域が活性化する道を歩めるのか。ですから、空家の登録、活用の流れを何とでも作ってまいりたいと思います。井上さん、今日は本当にありがとうございました。

対談の様子は伊吹山テレビ・米原市役所YouTubeチャンネルでも！



■伊吹山テレビ
放送期間1/4(金)~1/10(木)



◀米原市役所
YouTubeチャンネル
公開日1/4(金)~